

コミュニティバス利用者アンケート結果

平成 23 年 2 月

鴨川市総務部企画政策課

[目 次]

1	調査の概要	1
2	調査結果の概要	1
3	路線別調査結果	
(1)	北ルート	3
(2)	南ルート	7
(3)	清澄ルート	12
4	自由意見	16
	調査票	19

1 調査の概要

(1) 調査目的

コミュニティバスの利用状況を把握・分析し、コミュニティバス等の検討資料とする。

(2) 調査対象

コミュニティバス利用者

(3) 調査方法

主にコミュニティバス車内において、乗務員から利用者に調査票を配布し、同バス又は市関係施設（市役所、ふれあいセンター、支所、出張所等）において調査票を回収した。

(4) 実施時期

①調査票配布期間 平成 23 年 1 月 11 日（火）～ 1 月 24 日（月）

②調査票回収期間 平成 23 年 1 月 11 日（火）～ 1 月 28 日（金）

(5) 調査票

別添のとおり

2 調査結果の概要

(1) 回収数

配布総数 117 件に対し、回収総数は 74 件で、回収率は 63.2%である。

全体で 74 件、うち月 1 回以上利用する方は 55 件で、全体の 74.3%を占めた。

路線名（運行系統）	配布数	回収数	回収率
北ルート（金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦）	45	27	60.0%
南ルート（曾呂終点～鴨川駅西口～浦の脇）	48	39	81.3%
清澄ルート（天津小湊支所～奥清澄）	24	8	33.3%
計	117	74	63.2%

路線名（運行系統）	回収数	うち月 1 回以上利用者	構成比
北ルート（金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦）	27	22	81.5%
南ルート（曾呂終点～鴨川駅西口～浦の脇）	39	29	74.4%
清澄ルート（天津小湊支所～奥清澄）	8	4	50.0%
計	74	55	74.3%

(2) 利用者の年代

月1回以上利用する方では、60歳以上の方が81.9%と多数を占めている。

16歳未満については3.6%、19歳未満の方は回収なしという結果に止まるなど、通学の手段としては、あまり利用されていないことが窺える。

年齢区分	回収数	構成比
16歳未満	2	3.6%
16歳以上19歳未満	0	0.0%
19歳・20歳代	0	0.0%
30歳代	1	1.8%
40歳代	0	0.0%
50歳代	2	3.6%
60歳代	20	36.4%
70歳代、	17	30.9%
80歳以上	8	14.6%
無回答	5	9.1%
計	55	100.0%

(3) 路線別の概要（調査結果からみた特徴）

① 北ルート

- ・他の路線に比べ、週4回以上利用する固定的な利用者が最も多い。
- ・買い物、通勤・通学、通院等での利用が多く、また、沿線の施設の利用も少なくないため、比較的沿線で目的が完結する状況にある。

② 南ルート

- ・他の路線に比べ、週4回以上利用する固定的な利用者が少ない。
- ・買い物、通院、行政・金融機関等での利用が多く、市中心部を中心とした沿線施設の利用は多いが、一部の医療機関への通院等のため、乗り継ぎが比較的多い状況にある。

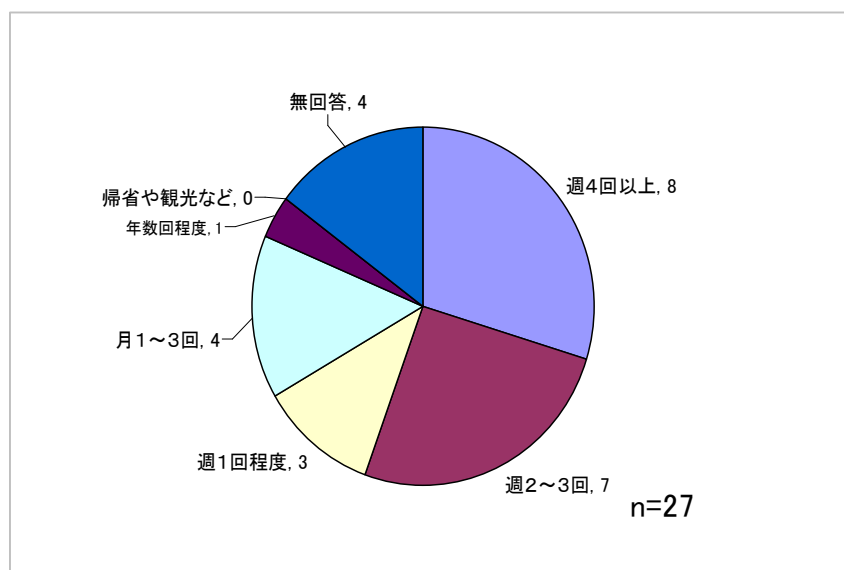
③ 清澄ルート

- ・利用目的は、沿線住民の日常生活上の利用に加え、名刹が立地していることから、観光客の利用も少なくない。
- ・不便に感じることは、乗用車を利用していることから、行き先表示や乗り降りの不便さが挙げられている。

3－（１）北ルート

1）利用頻度

週４回以上利用している方が最も多く、次いで、週２～３回、月１～３回程度の順となっており、月１～３回程度以上の頻度で利用する方は２２で、８１％を占める。



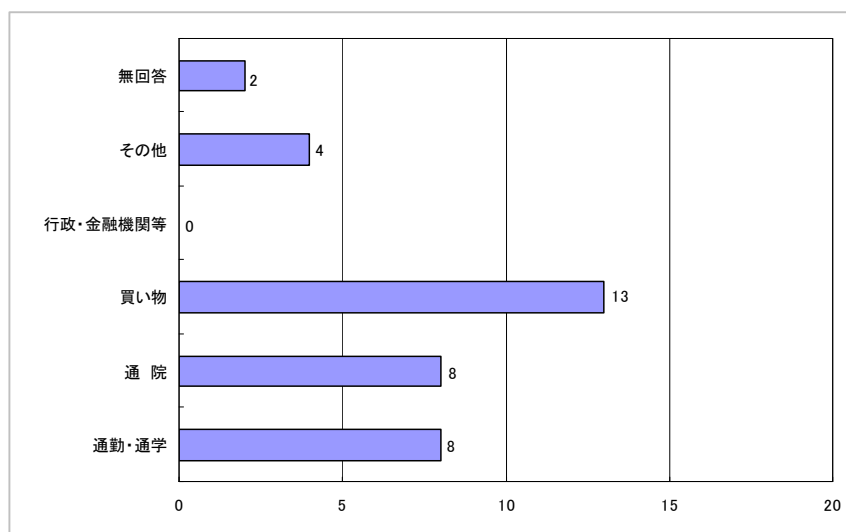
※以降、月１～３回以上の利用頻度があるもの（２２件）についてのみ集計。

2）利用目的

買い物が１３と最も多く、次いで通院、通勤・通学、となっている。

１）と合わせ考えると、通勤・通学以外の方が週４回以上利用し、それ以外は週数回の利用となっていることが読み取れる。

具体的な目的地は次のとおりである。



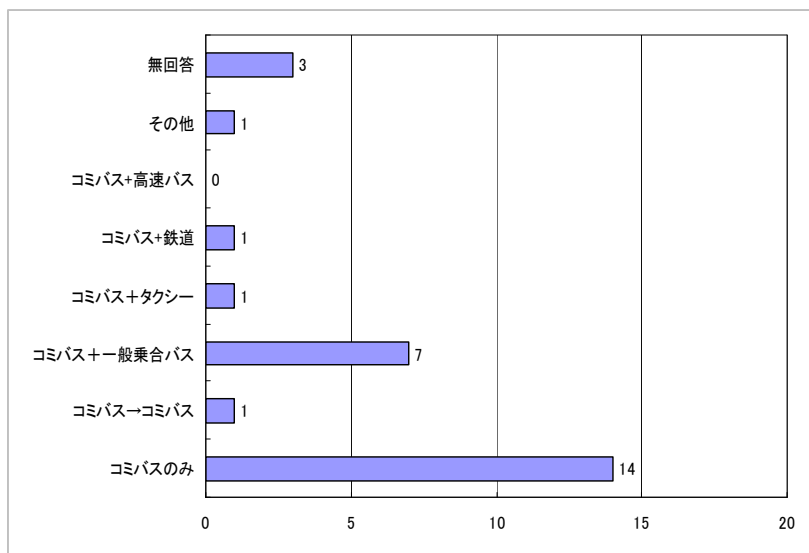
・目的地

目的	目的地
その他	鴨川駅(1)
行政・金融機関等	千葉銀行(3)、鴨川郵便局(1)、天津小湊支所(1)
買い物	ジャスコ(7)、おどや(3)、ベイシア(1)、マツモトキヨシ(1)
通院	亀田総合病院(2)、小田病院(1)、伊藤病院(1)、小田病院(1)、東条病院(1)、東島歯科(1)
通勤・通学	福祉作業所(3)、鴨川中学校(1)

3) 目的地までの交通手段

コミュニティバスのみを交通手段としている場合が最も多く、また、一般乗合バスを併用している場合は、帰路において一般乗合バスを利用しているケースが大半を占めていた。

なお、記載されていた乗り継ぎ箇所を下記に示す。



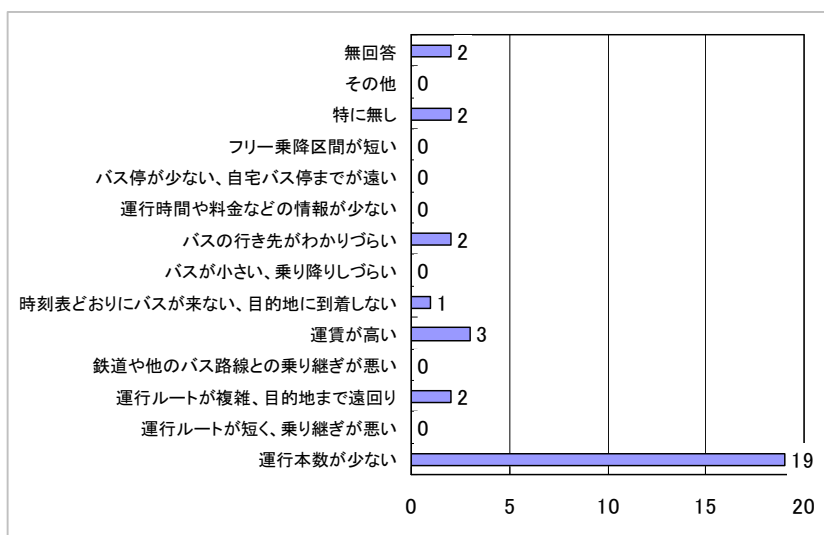
・乗り継ぎ箇所

手段	乗り継ぎ場所
コミバス+一般乗合バス	亀田病院前(小湊⇄亀田病院)、鴨川駅(外堀⇄西条公民館)
コミバス+コミバス	鴨川駅(記述なし)

4) 不便に感じること

運行本数が少ないことが最も多く（現在の運行本数、金山ダム～鯛の浦 3.0 往復/日、金山ダム～安房鴨川駅西口 1.0 往復/日）、次いで運賃に関する意見が多い。

これらの改善策として、次のとおり意見等が挙げられている。

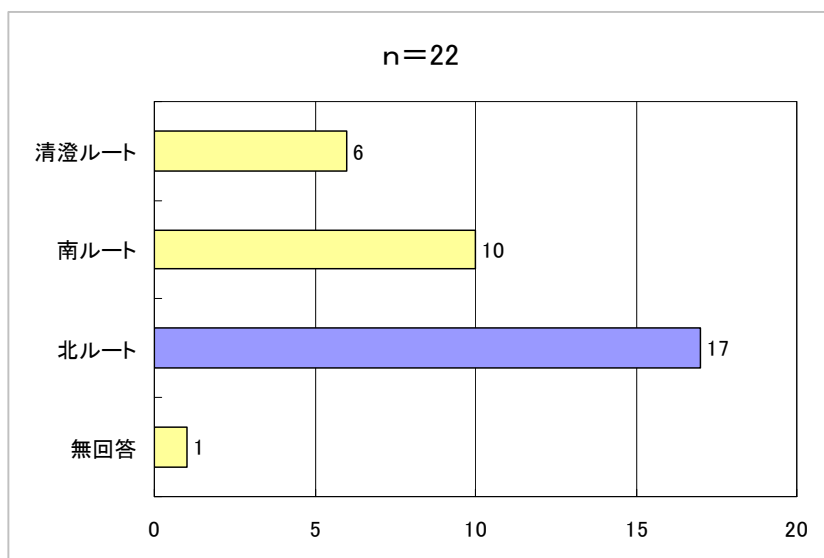


・改善策

- ・ 夏と冬の時間と同じでなく、大変と思うけど、夏は夏の時間、冬は冬の時間として、運行して下さると有難いと思います。75歳なので、買い物も大変なので。勝手な事ですけど。(70 歳代、打墨)
- ・ 例) 鯛の浦 9:30→鴨川駅(西口)約 10:00 買い物をして帰りのコミュニティバスだと鴨川駅 12:11 まで待たないといけなかったので、せめて 11:00 頃の時間があっても良いと思う。
- ・ 鯛の浦 17:45 発だと冬は真っ暗だし人も歩いていなのでせめて 16:30(最終)ではいかがですか？(60 歳代、小湊)
- ・ 15 時頃のバスを 1 本増やしてほしい。(70 歳代、小湊)
- ・ 午前中に 2 運行欲しいと思います。(70 歳代、小湊)

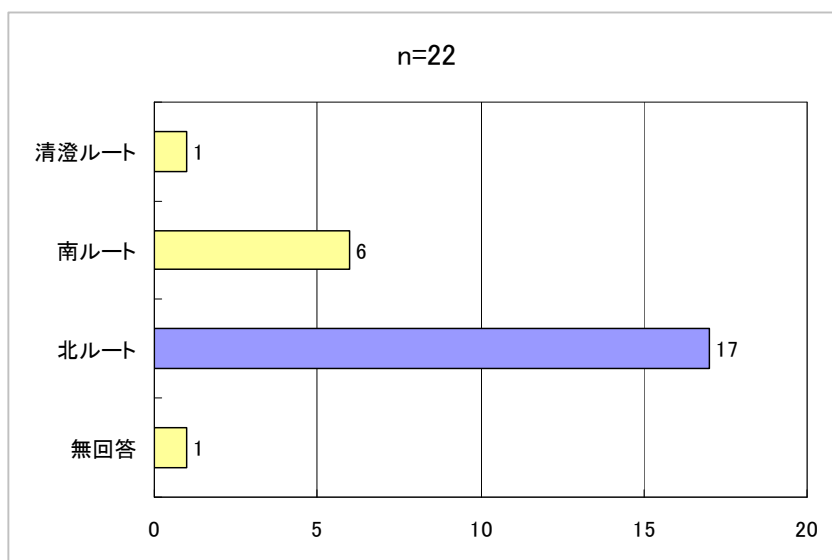
5) 路線の認知度

無回答者 1 名を除く 21 名中、南ルートについては約半数が、また、清澄ルートについては 3 割弱が認知をしている結果となった。北ルートは、清澄ルートとも結節し、また、南ルートとも一部重複していることなどから、他の路線よりも比較的認知度が高い結果を示すものとなった。



6) 主な利用路線

無回答者 1 名を除く 21 名中、17 名が主な利用路線と回答しているが、南ルートのみ、清澄ルートのみとの回答が、それぞれ 3 件、1 件とあった。また、南ルートとの併用との回答が 3 件あった。



● 属 性

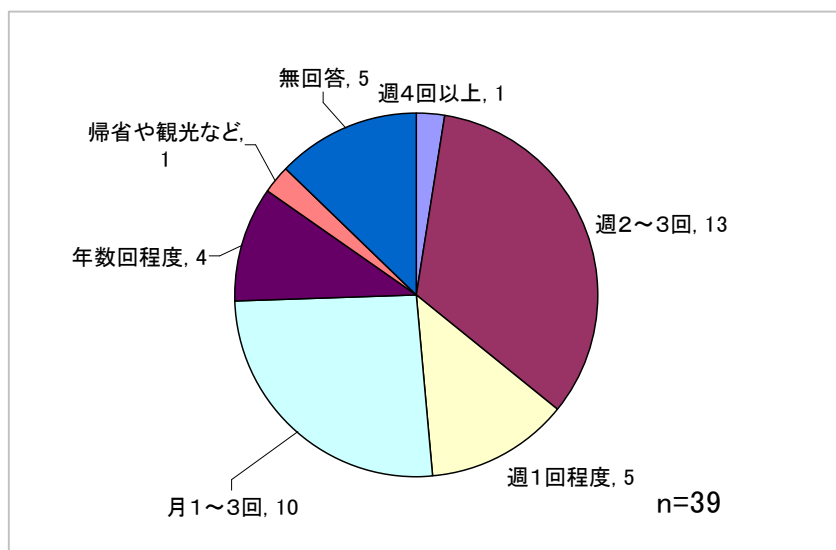
項目	属性	回答数	構成比
性別	男性	7	26.9%
	女性	16	61.5%
	無回答	3	11.5%
年代	13歳未満	5	19.2%
	13歳以上16歳未満	1	3.8%
	16歳以上20歳未満	0	0.0%
	20歳代	0	0.0%
	30歳代	4	15.4%
	40歳代	2	7.7%
	50歳代	0	0.0%
	60歳代	8	30.8%
	70歳代	5	19.2%
	80歳以上	1	3.8%
	無回答	0	0.0%
住所	沿線地域	19	86.4%
	沿線地域外(市内)	3	13.6%
	沿線地域外(市外)	0	0.0%
	無回答	4	18.2%

項目	属性	回答数	構成比
職業	会社員・公務員	2	7.7%
	農業	0	0.0%
	自営	0	0.0%
	パート・アルバイト	2	7.7%
	専業主婦	4	15.4%
	児童・生徒・学生	6	23.1%
	無職	10	38.5%
	その他	2	7.7%
	無回答	0	0.0%
家族構成	夫婦2人暮らし	8	30.8%
	子ども・親等と同居	13	50.0%
	1人暮らし	2	7.7%
	その他	3	11.5%
	無回答	0	0.0%
運転免許	免許あり	3	11.5%
	免許なし	20	76.9%
	無回答	3	11.5%
自家用車保有状況	世帯で1台	5	19.2%
	世帯で2台	5	19.2%
	世帯で3台	4	15.4%
	世帯で4台以上	0	0.0%
	保有していない	10	38.5%
	無回答	2	7.7%

3－（２） 南ルート

1) 利用頻度

週 2～3 回利用する方が最も多く、次いで、月 1～3 回、週 1 回程度の順となっており、月 1～3 回程度以上の頻度で利用する方は 29 となり、74%を占める。



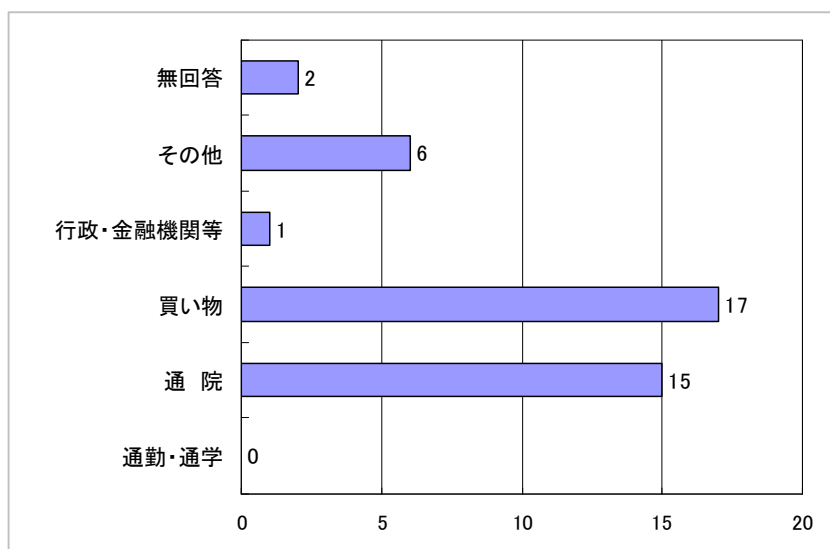
※以降、月 1～3 回以上の利用頻度があるもの（29 件）についてのみ集計。

2) 利用目的

買い物が 17 と最も多く、次いで通院が 15 と大半を占める結果となった。

1) と合わせ考えると、通勤・通学といった固定的な利用がないことが読み取れる。

具体的な目的地は次のとおりである。



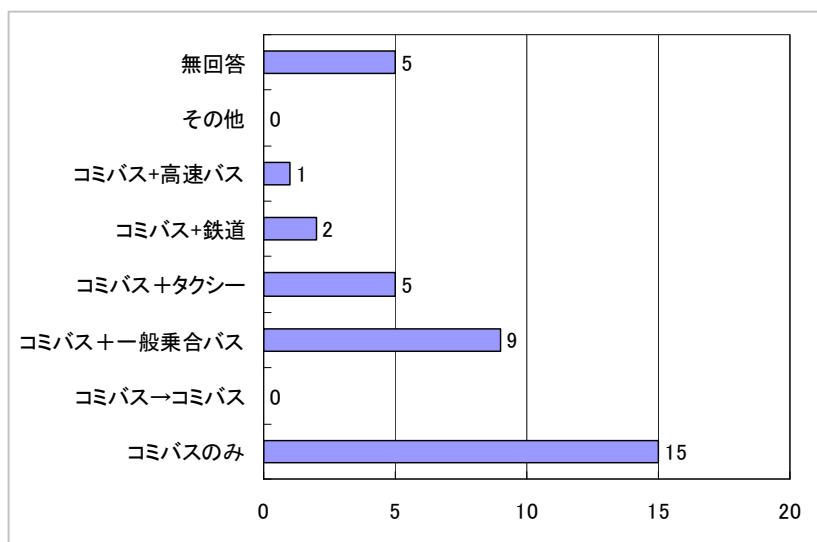
・ 目的地

目的	目的地
その他	友人宅(1)、生家(1)
行政・金融機関等	千葉銀行(4)、市役所(3)、郵便局(3)、鴨川駅(2)、ふれあいセンター(1)他
買い物	ジャスコ(16)、ベイシア(5)、おどや(4)、カインズ(4)、マツモトキヨシ(1)他
通院	亀田総合病院(8)、小田病院(5)、三橋眼科医院(3)、伊藤病院(2)、石川クリニック(1)、長谷川医院(1)、中島歯科(1)、のぞみ歯科(1)
通勤・通学	—

3) 目的地までの交通手段

コミュニティバスのみを交通手段としている場合が15件と比較的少なく、一般乗合バス等をはじめとする乗り継ぎが多い。

1)、2)と合わせ考えると、亀田総合病院等への通院等により、乗り継ぎが発生していることが伺える。



・乗り継ぎ箇所

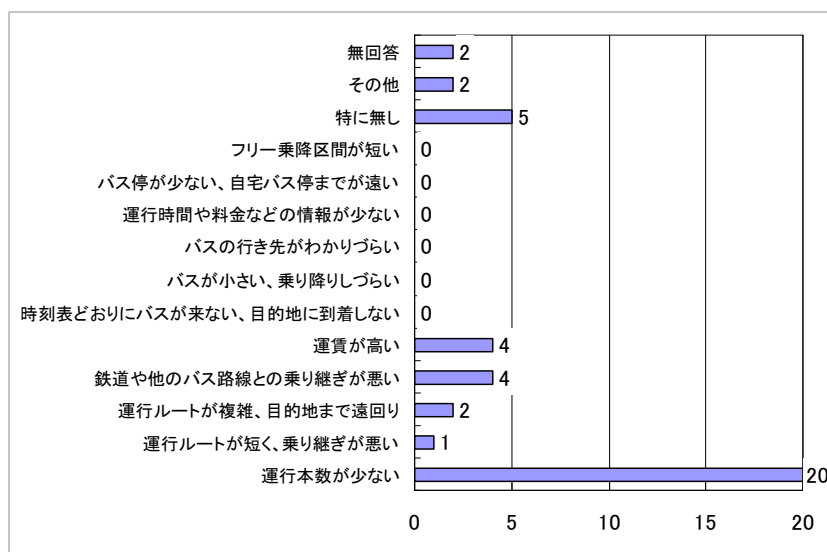
手段	乗り継ぎ場所
コミバス+高速バス	鴨川駅西口【2】(広場⇄東京)(2)
コミバス+鉄道	安房鴨川駅(広場⇄東京)
コミバス+タクシー	鴨川駅西口(花房⇄鴨川駅西口)
コミバス+一般乗合バス	亀田病院前(天津⇄亀田病院前)

4) 不便に感じること

運行本数が少ないことが最も上位を占めている。

(現在の運行は、曾呂終点～安房鴨川駅東口 3.0 往復/日、曾呂終点～太海駅 3.0 往復/日、浦の脇～安房鴨川駅東口 1.0 往復/日)。

次いで、運賃が高い、鉄道や他のバス路線との乗り継ぎが悪いといった意見が続いている。



これらの改善策として、次のとおり意見等が挙げられている。

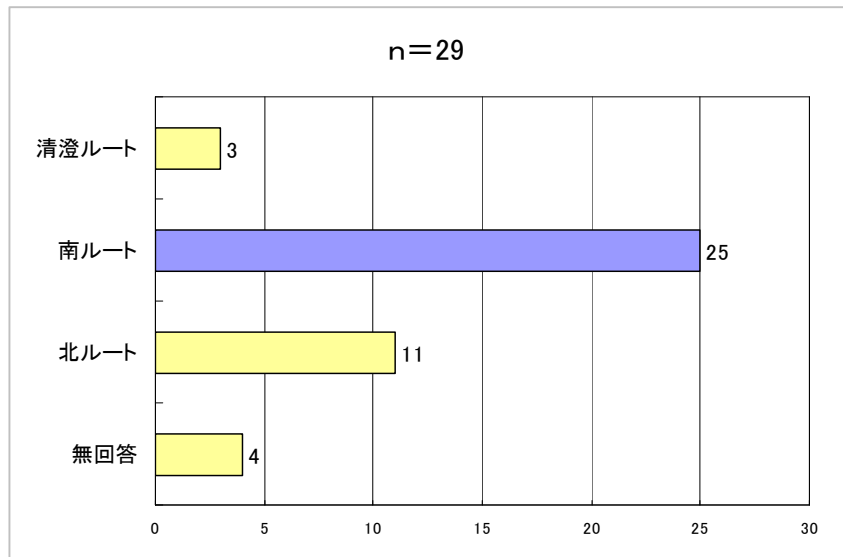
・改善策

- ・ もう少し本数を多くしていただきたい。(80 歳代、住所不明)
- ・ 太海の病院に薬を取りに行くのですが9:00のバスで行って2時間近く太海駅で待たなければいけないので30~1時間待つぐらいでバスが来るような時間にできないでしょうか。(60 歳代、宮)
- ・ せめて1時間に1本は運行してほしい。利用したいのに間隔(時間の)長すぎて使い辛い。本数を増やしてほしい。午前中にあと2本、午後にあと2本は是非増やしてください。(70 歳代、東町)
- ・ 運行本数とルート間の調整をもう少し考えてほしい。(60 歳代、広場)
- ・ 東条病院前バス停から市役所、鴨川駅西口へ行くのに便利なバスがない、公民館前まで行くのは遠くなる。(80 歳代、広場)
- ・ 曾呂方面のバスの時間、午後2時10分と5時の間、3時頃のバスがあると助かります。(70 歳代、住所不明)
- ・ 列車や高速バスの発車時刻とリンクするようにしてほしい。たとえば現在なるべく早く東京へ行きたいとき南ルート鴨川駅行きが一番早いバスは鴨川駅着8:02分あと5分早く着けば8:00発の高速バスに間に合うのに、8:30発の高速バスか、8:35発のわかしおに乗らなくてはいけない。また9:46鴨川駅着のバスは9:39発のわかしお10号に間に合わないなどいろいろです。(60 歳代、広場)
- ・ 曾呂から鴨川駅まで一直線に行ってほしい(現在は太海まで遠回りし、その分運賃が上乘せされるし、時間もかかる)太海方面は鴨川駅から乗り合いバス(日東)がでているのでそれでいいのでは?或いはその分遠回りした分の運賃は差し引いて調整してほしい。
- ・ 本数を増やしてほしい。(午前中2往復、午後3往復できる位に)(年齢不詳、住所不明)
- ・ 8時のバスを降りて10時の電車に乗るので時間があまりすぎるので時間をつぶすのが大変(60 歳代、八色)
- ・ 午前9時台のバスを運行してほしいです。(60 歳代、八色)
- ・ 本数をもう一往復増やして欲しいです。(出来れば夕方5時台)(80 歳代、西町)
- ・ わかりにくいバス停がある。(70 歳代、八色)
- ・ 運行本数をもう少し増やしてほしいです。(60 歳代、代)
- ・ 車台数を増やしてほしい、JRの時間と合わせてほしい。(60 歳代、八色)
- ・ コミュニティバスの時間(回数)をもう少し増やしてほしいです。(年齢不詳、住所不明)

5) 路線の認知度

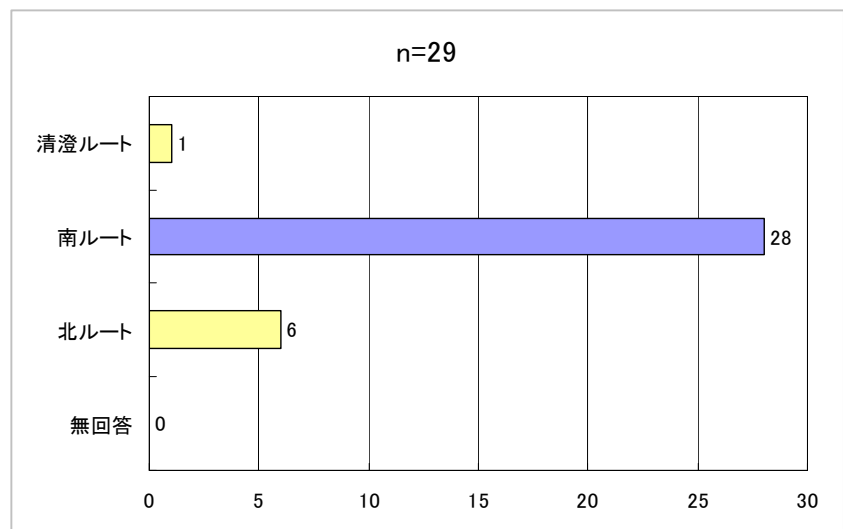
無回答者4名を除く25名中、3路線全ての認知していた方が3名いたものの、それ以外では、北ルートを経験しているのみとなった。

2)、3)を合わせ考えると、通院等により南ルートのみでは完結してはいないにも関わらず、特に北ルートの認知度が低いことが読み取れる。



6) 主な利用路線

29名中、28名が主な利用路線として回答している。なお、北ルートの6名は併用であるが、1名が結節もしていない清澄ルートのみを主な利用路線として回答していることは不可解である。



●属 性

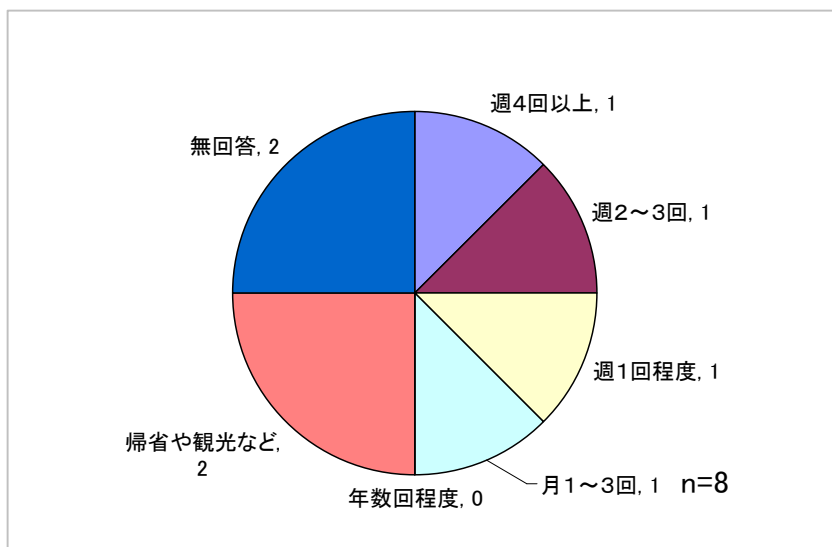
項目	属性	回答数	構成比
性別	男性	6	15.4%
	女性	21	53.8%
	無回答	12	30.8%
年代	13歳未満	0	0.0%
	13歳以上16歳未満	0	0.0%
	16歳以上19歳未満	0	0.0%
	19歳・20歳代	0	0.0%
	30歳代	0	0.0%
	40歳代	0	0.0%
	50歳代	1	2.6%
	60歳代	14	35.9%
	70歳代	10	25.6%
	80歳以上	9	23.1%
	無回答	5	12.8%
住所	沿線地域	21	53.8%
	沿線地域外(市内)	1	2.6%
	沿線地域外(市外)	2	5.1%
	無回答	15	38.5%

項目	属性	回答数	構成比
職業	会社員・公務員	0	0.0%
	農業	2	5.1%
	自営	0	0.0%
	パート・アルバイト	3	7.7%
	専業主婦	9	23.1%
	児童・生徒・学生	0	0.0%
	無職	19	48.7%
	その他	0	0.0%
家族構成	無回答	6	15.4%
	夫婦2人暮らし	10	25.6%
	子ども・親等と同居	7	17.9%
	1人暮らし	13	33.3%
	その他	4	10.3%
運転免許	無回答	5	12.8%
	免許あり	6	15.4%
	免許なし	24	61.5%
自家用車保有状況	無回答	9	23.1%
	世帯で1台	3	7.7%
	世帯で2台	2	5.1%
	世帯で3台	2	5.1%
	世帯で4台以上	1	2.6%
	保有していない	23	59.0%
	無回答	8	20.5%

3－（3） 清澄線

1) 利用頻度

サンプル数が8件と少ないため、帰省や観光での利用が最も多いが、月1～3回以上の利用が半数を占める結果となった。



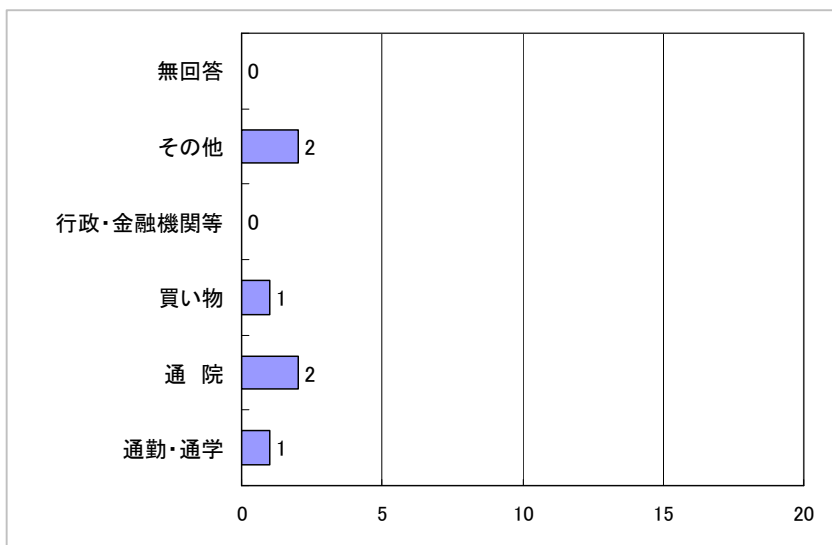
※以降、月1～3回以上の利用頻度があるもの（4件）についてのみ集計。

2) 利用目的

通院が2と最も多く、次いで通勤・通学、買い物となっている。

1) と合わせ考えると、通勤・通学以外の目的でも週2～3回以上利用している方がいることが読み取れる。

具体的な目的地は次のとおりである。

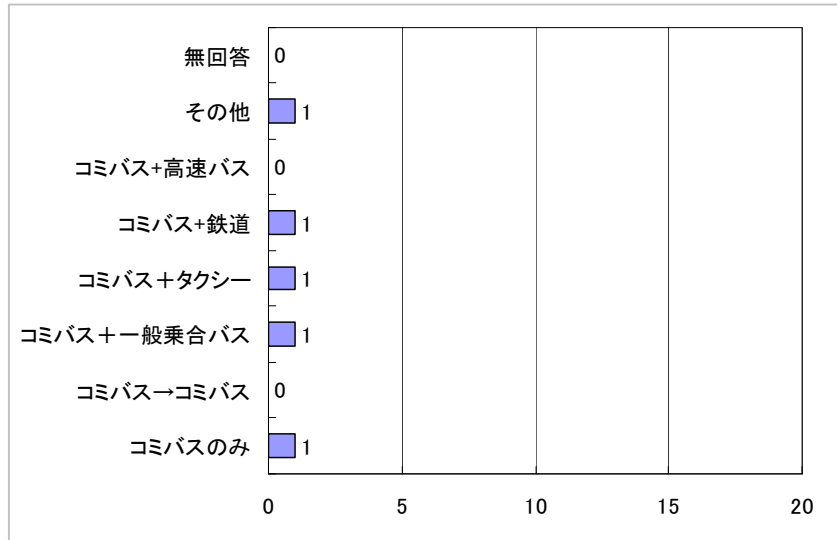


・ 目的地

目的	目的地
通院	東条病院(1)
通勤・通学	天津小学校(1)

3) 目的地への交通手段

1)、2) を合わせ考えると、コミュニティバスのみの利用は小学校通学のみであり、通院や買い物では、タクシーや一般乗合バスへ乗り継いでいることが伺える。



4) 不便に感じること

時刻表どおりにバスが来ない・目的地に到着しない、鉄道や他のバス路線との乗り継ぎが悪い、など意見が分散している。

これについては、本路線は、15人乗り乗用車を使用していることから、行き先表示や乗降への不便さが挙げられているためである。



これらの改善策として、次のとおり意見等が挙げられている。

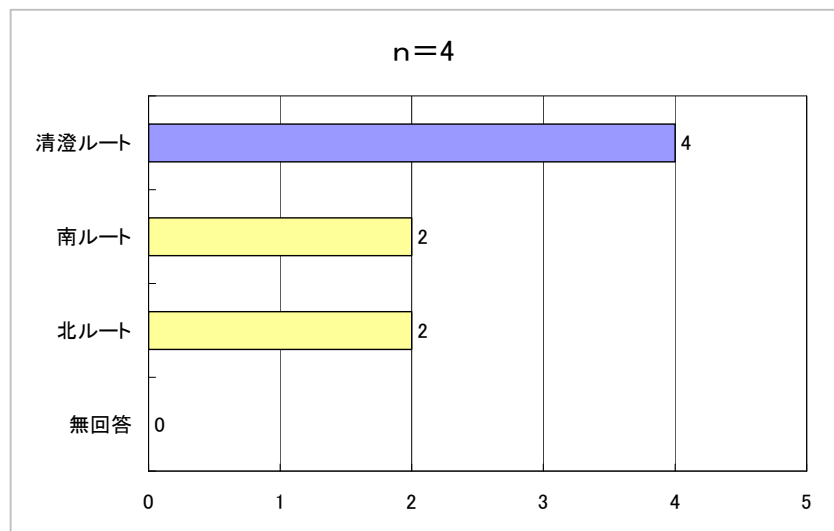
・改善策

- ・ バス停に来る時間が遅い時と早い時がある。(13 歳未満、四方木)

5) 路線の認知度

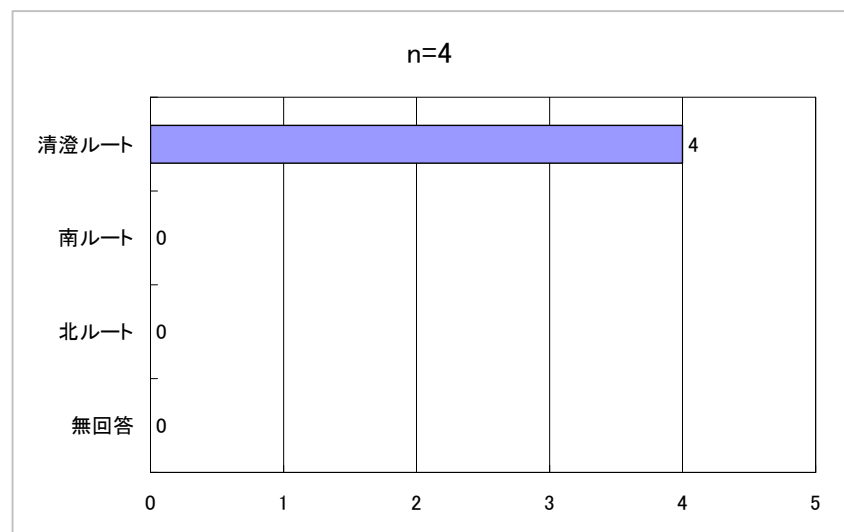
4名中、半数の2名は全路線を認知していたが、その一方で、残り半数は、清澄ルートしか認知していなかった。

なお、東条病院への通院と回答した方は、清澄ルートのみ認知であった。



6) 主な利用路線

4名全てが清澄ルートのみと回答している。但し4)において、乗り継ぎの悪さが挙げられていることから、一般乗合バスもしくは鉄道との乗り継ぎに係るものであることを裏付ける結果となった。



●属性

項目	属性	回答数	構成比
性別	男性	1	12.5%
	女性	5	62.5%
	無回答	2	25.0%
年代	13歳未満	1	12.5%
	13歳以上16歳未満	0	0.0%
	16歳以上19歳未満	0	0.0%
	19歳・20歳代	0	0.0%
	30歳代	0	0.0%
	40歳代	0	0.0%
	50歳代	1	12.5%
	60歳代	2	25.0%
	70歳代	4	50.0%
	80歳以上	0	0.0%
	無回答	0	0.0%
住所	沿線地域	3	37.5%
	沿線地域外(市内)	0	0.0%
	沿線地域外(市外)	2	25.0%
	無回答	3	37.5%

項目	属性	回答数	構成比
職業	会社員・公務員	0	0.0%
	農業	0	0.0%
	自営	2	25.0%
	パート・アルバイト	0	0.0%
	専業主婦	2	25.0%
	児童・生徒・学生	1	12.5%
	無職	2	25.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	1	12.5%
家族構成	夫婦2人暮らし	2	25.0%
	子ども・親等と同居	3	37.5%
	1人暮らし	1	12.5%
	その他	0	0.0%
	無回答	2	25.0%
運転免許	免許あり	3	37.5%
	免許なし	3	37.5%
	無回答	2	25.0%
自家用車保有状況	世帯で1台	2	25.0%
	世帯で2台	2	25.0%
	世帯で3台	0	0.0%
	世帯で4台以上	0	0.0%
	保有していない	1	12.5%
	無回答	3	37.5%

4 自由意見 (原文のとおり。年数回程度、観光等での利用者の意見も掲載。)

[北ルート]

【苦言等】

- ・ ロイヤル前を利用していますが、高齢者には国道を渡るのが最近怖くなって、コミュニティバスは鴨川館前で乗れるので助かります。本数が少ないのがチョットね。(70 歳代、西町)
- ・ この頃のバスは老人には危ない、椅子が高すぎる、歩く所が斜めで滑りやすい (60 歳代、住所不明)

【その他】

- ・ 客が減ってもバスは必要です。(60 歳代、浦の脇)
- ・ 乗る人が少ないのにありがとうございます。(70 歳代、住所不明)
- ・ 鯛の浦バス停 (家が近い事もあって助かっています) ありがたいです。(60 歳代、小湊)

[南ルート]

【苦言等】

- ・ 最近は大いぶ良くなったように思うが運転士さんの態度が悪いときがある、行き先を聞いてもぶっきらぼうで「ありがとうございました」といっても返事がなかったりする。観光目的で鴨川を訪れている人には印象が悪いと思う。それと以前、駅からコミュニティバスに乗るとき、観光客の方が「1~2 時間、時間があるからこのバスで市内を廻ってみたい」と言っていた人がいました、そのとき「曾呂終点まで行ってもバスは閉めてしまうし、無理だよ」と運転手さんが言っていました。私は曾呂終点まで行ったことがないので、具体的に提案することは出来ませんが遊歩道とかちょっと散策するとか自然の中に身を置く喜びというものもあるので自家用車以外で観光にみえた人たちもコミュニティバスを使ってもらうコース設定を考えたらどうでしょう。ダムや清澄など、その他伊ハに関する事など(鏡忍寺もすばらしい)そして地元の人には図書館へもバスで便利とか、車を運転しないお年寄りの方でもお友達とコミュニティバスを使ってミニハイキングはどうかとか提案してみるなど。広報かものがわで具体的にコミュニティバスを使った楽しみ方を紹介するのも良いと思う。各コース間で自由に乗り降りできる一日パスを設定するのも良いかもしれない。
- ・ もうひとつは地元のお年寄りが停留所の看板が一方向にしかなく反対周りに乗るはずが間違ってしまったと言っていたのも聞きました、ちょっとした事が利用を憶してしまうのではないかと思う。是非、より良いコミュニティバスになるように考えて頂き皆が楽しく利用できるようにして欲しい。(60 歳代、広場)

- ・ コミニティバスはあまりにも本数が少ない、値段が高い一律 100 円！一般のバスについては郵便局前（鴨川駅の手前の郵便局）に停留所を是非設置して頂けませんか。（70 歳代、東町）
- ・ 畑だけバス路線がないのは不公平である（統合中学校になった場合はなおさらである）路線バスとミニバス路線の運行時間の再考を願いたい。（60 歳代、畑）
- ・ 利用者の人数からいってバスの本数が少ないのはやむを得ないと思いますが、もう少し増やしていただけたらうれしいです。駅前まで買い物に行くのと帰りのバスまで 1 時間～3 時間ぐらい間があるので時間があまってしまいます。従って帰りはタクシーまたは徒歩になり年金生活者にタクシーは苦しいし、年配者にとって買い物の荷物を持って歩くのは辛いのです。車はありません、そこで自転車で駅前までということになりますが現在の道路事情は自転車にとって危険です。（60 歳代、広場）
- ・ 他の地域より大変、高齢者に不親切な気がいたします、所沢、東京、その他高齢者用に考えられていてうれしかったです。こちらは気候もよく高齢者も若者も喜んで参りますが社会的な観点から、市の行政として考えていただきたい気がいたします。（年齢不詳、住所不明）
- ・ 乗るときはいつも「おはようございます」の挨拶をしておりますが、運転士さんでやさしい人もおいでですが、挨拶を返してくれない人もおります。お声を聞かないとなんとなく不安な気持ちになる時があります。一生懸命の運転とは思いますが挨拶一言いただけたら良いと思います。（70 歳代、広場）
- ・ 運転士さんが感じのいい人と悪い人とがいます、市内線はだまっている人が多いです（60 歳代、八色）
- ・ 南ルートを利用（毎月 1 回）しています。高速バスは毎時間あっても利用できるのは 1 便しかありません。高速バスで東京―鴨川を往復して半月程滞在しています。滞在中は週に 2 回～3 回ミニバスを利用しています。（80 歳代、広場）

【その他】

- ・ 朝は一人のときが多く、バスは大変だと思います。（年齢不詳、住所不明）
- ・ ジャスコ、ベイシア、亀田病院方面、その他運行してもらい大変便利で良いです。現状維持で末永く運行してもらえたらと思います、宜しくお願いします。（50 歳代、和田町布野）
- ・ 車に乗りませんので便利です。それと高速バス（鴨川～東京）を利用しています、大変便利に使っています。（70 歳代、住所不明）
- ・ 鴨川駅より浦の協行きに乘っています、現在の乗務員さんは以前の人より対応が良いです。（80 歳代、西町）

- ・ 自家用車の普及、医療機関のサービスバスの送迎等で利用者の減少は免れないでしょう。廃線になるのだけはお考え頂きたいです。一日数本でも私たちにとっては大事な足なのです。(70 歳代、広場)
- ・ 大変乗りやすいバスで安心して乗れます。ありがとうございます。今後も引続き運行していただけます様よろしくお願い致します。(80 歳代、代)

[清澄ルート]

- ・ 意見なし

このアンケートは、鴨川市が実施しています。

鴨川市コミュニティバスに関するアンケートへのご協力をお願い

皆様には、日頃から市政にご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、鴨川市では平成20年11月よりコミュニティバス(*1)を運行していますが、平成21年11月の本格運行から1年余りが経過したことから、この度、利用者皆様のご意見やご意向を調査し、コミュニティバスの見直しについて検討するため、アンケート調査を実施することといたしました。

なお、この調査は、無記名でご回答いただくとともに、統計的に集計・分析を行いますので、個人の特定はもちろん、他の目的に使用することは決してありません。

皆様のニーズに即したコミュニティバスへ改善していくため、ぜひご協力をお願いします。

平成23年 1月11日

鴨川市長 片桐 有而

*1 コミュニティバス

鴨川市では、次の3路線が該当します。

- ・北ルート(金山ダム～安房鴨川駅西口～安房天津駅～安房小湊駅～鯛の浦)
- ・南ルート(曾呂終点～太海駅～安房鴨川駅西口～ふれあいセンター～安房鴨川駅東口)
- ・清澄ルート(天津小湊支所～安房天津駅～清澄寺～奥清澄)

●調査内容

裏面の問1から問14までのアンケートにお答えください。

●調査対象者

コミュニティバス利用者

●アンケートの回収

平成23年1月11日(火)～1月28日(金)の間に、ご利用のコミュニティバスの乗務員へ渡していただくか、市役所又は最寄りの出張所へお届けください。

●アンケートに関するお問い合わせ先

鴨川市役所総務部企画政策課 政策推進係 電話 04(7093)7828

問1 平成20年11月から、次の3路線でコミュニティバスの運行をしていますが、あなたは、どのバス路線をご存知ですか？
当てはまるものを全て選び、番号を○で囲んでください。

1. 北ルート(金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦)
2. 南ルート(曾呂終点～太海駅～鴨川駅西口～浦の脇～鴨川駅東口)
3. 清澄ルート(天津小湊支所～清澄寺～奥清澄)

問2 あなたが、よく利用するバス路線は、どのルートですか？
当てはまるものを全て選び、番号を○で囲んでください。

1. 北ルート(金山ダム～鴨川駅西口～鯛の浦)
2. 南ルート(曾呂終点～太海駅～鴨川駅西口～浦の脇～鴨川駅東口)
3. 清澄ルート(天津小湊支所～清澄寺～奥清澄)

問3 あなたは、どの程度、コミュニティバスを利用していますか？
当てはまるものを1つ選び、番号を○で囲んでください。

1. ほぼ毎日
2. 週2～3回
3. 週1回程度
4. 月に1～3回程度
5. 年に数回程度
6. 帰省や観光などで、たまたま利用した ⇒ 問7のみ、お答えください。

問4 あなたは、どのような目的で、コミュニティバスを利用していますか。
主なものを2つまで選び、番号を○で囲んでください。また、それぞれ、具体的な目的地を記入してください。

1. 通勤・通学 ⇒ 目的地（例：○○高校） _____
2. 通 院 ⇒ 目的地（例：○○病院） _____
3. 買い物 ⇒ 目的地（例：○○商店） _____
4. 趣味・習い事・娯楽⇒ 目的地（例：○○公民館） _____
5. 市役所、郵便局や金融機関などでの諸手続
 ⇒ 目的地（例：○○銀行） _____
6. その他 ⇒ 目的と目的地を具体的に
 （例：知人の世話のため○○○まで行く） _____

問5 あなたは、前問の目的地へ向かうため、コミュニティバス以外の交通機関も利用しますか？

当てはまるものを2つまで選び、番号を○で囲んでください。また、それぞれ、具体的な乗り継ぎ場所を記入してください。

1. コミュニティバスだけで目的地に着く
2. コミュニティバスからコミュニティバス
 （乗り継ぎのバス停留所： _____）
3. コミュニティバスと一般乗合バス
 （乗り継ぎのバス停留所： _____）
4. コミュニティバスとタクシー
 （乗り継ぎ場所： _____）
5. コミュニティバスと鉄道
 （鉄道駅： _____）
6. コミュニティバスと高速バス
 （高速バス停留所： _____）
7. その他 （ _____）

問6 コミュニティバスについて、不便に感じることはありますか。
特に、当てはまるものを2つまで選び、番号を○で囲んでください。
また、具体的に改善してほしいことを下欄に記入してください。

1. 運行本数が少ない
2. 運行ルートが短く、乗り継ぎが必要
3. 運行ルートが複雑、目的地まで遠回り
4. 鉄道や他のバス路線との乗り継ぎが悪い
5. 運賃が高い
6. 時刻表どおりにバスが来ない、目的地に到着しない
7. バスが小さい、乗り降りしづらい
8. バスの行き先がわかりづらい
9. 運行時間や料金などの情報が少ない
10. バス停が少ない、自宅からバス停までが遠い
11. フリー乗降区間が短い
12. 特になし
13. その他

改善してほしいこと（具体的に）：

問7 鴨川市の地域公共交通について、あなたのご意見を記入してください。
コミュニティバスだけではなく、一般のバスなど公共交通全般に関するご意見でも結構です。

問 8 最後に、あなたご自身のことについて、お答えください。
(当てはまるものの番号を○で囲んでください。)

性別	1. 男性	2. 女性	
年代	1. 13歳未満 4. 19歳以上20歳未満 7. 40歳代 10. 70歳代	2. 13歳以上16歳未満 5. 20歳代 8. 50歳代 11. 80歳以上	3. 16歳以上19歳未満 6. 30歳代 9. 60歳代
住所	※番地は記入せず、 <u>大字のみ</u> (他市町村の方は市町村名も) お答えください。 〔 _____ 〕 (例: 横渚)		
職業	1. 会社員・公務員 4. パート・アルバイト 7. 無職	2. 農業 5. 専業主婦 8. その他 (_____)	3. 自営 6. 児童・生徒・学生
家族構成	1. 夫婦2人暮らし 3. 1人暮らし	2. 子ども・親等と同居 (_____ 人世帯) 4. その他 (_____)	
運転免許	1. 免許あり	2. 免許なし	
自家用車	1. 世帯で1台 4. 世帯で4台以上	2. 世帯で2台 5. 保有していない	3. 世帯で3台

アンケートは以上で終わりです。

このアンケート票は、コミュニティバスの乗務員にお渡しいただくか、市役所又は最寄りの出張所へ、1月28日(金)までにお届けください。

ご協力ありがとうございました。

整理用:

配 付	月	日	北・南・清
回 収	月	日	北・南・清

コミュニティバスの運行に関する課題と見直しの方向性（案）

（１）コミュニティバスの運行に関する課題

これまでの運行結果と利用者アンケートから、コミュニティバスの課題は大きく２つに分けられる。まず１つ目として利用者が少なく、１便当たりの輸送人員が２．７人/便に止まっていること。次に２つ目として、多くの利用者が特に運行本数、運行経路及び運賃について不満を抱いていることが伺える。

① 費用対効果

○ 全体的な利用率の低迷

平成 21、22 年度とも 1 便当たりの輸送人員が 2.7 人/便と利用率が低迷しており、利用者一人当りの本市負担額も千円弱に上っている。

○ 運行便ごとの輸送人員の多寡

それぞれの運行路線における輸送人員の多寡も課題のひとつではあるが、同一路線における運行便の輸送人員の格差は、これを上回るものとなっている。

② 運行及び運賃

○ 運行経路が複雑かつ長大

利用者アンケートによると、最も不便と感じていることが運行本数の少なさである。しかしながら、市町合併による統合公共施設への移動手段の確保などといった観点から設定したため、ルートが長大で自由度が狭く、また、これにより運行間隔が空いている。

○ 運賃

利用者アンケートで、運行本数に次いで不便と感じている項目は運賃である。清澄ルートでは簡略運賃を適用しているものの、民間路線バスとの競合区間を有している北・南ルートの運賃設定は、民間路線バスに準じたものとなっている。

(2) 見直しの方向性

これらの課題に対処するため、コミュニティバスの見直しに着手するとともに、その方向性は、下記のとおりとしたい。

① コミュニティバスの効率的な運行

◎ 検討の方針

北・南ルートで使用している2台のバス車両は、平成21年11月に導入したものであるため、まずは、この車両を引き続き使用しての運行見直しについて検討することとし、ついでには運行経路並びに運行時刻の見直しを基本とする。

○ 運行経路の見直しによる効率的な運行

利用者ニーズを的確に把握し、これを踏まえた運行経路の設定を行い、利用者の増加を図るものとする。

また、競合区間のあり方についても検討を行うこととする。

○ 運行時刻の見直しによる効率的な運行

運行経路の見直しの有無に関わらず、現運行時刻の利用実績を踏まえ、より効率的な運行時刻の設定について検討を行うこととする。

② コミュニティバスの利用促進

○ 公共交通空白地帯の解消

現在の運行路線を基本としながら、運行経費を勘案し、公共交通空白地帯の解消と利用者の増加を図る。

○ コミュニティバスの周知・啓発

運行経路、時刻表及び運賃表を運行経路沿線の公共施設や市民の利用が多い施設に配架・掲載するなど、一層のコミュニティバスの周知・啓発を図る。

○ 交通弱者の移動支援

高齢化社会の進展、身体障害者の社会進出機会の増加に伴い、コミュニティバスは、高齢者や身体障害者の有力な移動手段となりうる。特に高齢者については、高齢者運転による交通事故の抑制と利用促進の両面から、運転免許証の自主返納者を対象とした割引制度を本年7月から導入したところであるが、より一層の支援措置について改めて検討する。

○ バス停留所の環境整備

バス停標識について、片側のみの設置箇所の解消や老朽化に伴う更新を実施するなど、利用環境の整備を図る。

○ 運賃体系の検討

多様な交通手段の利用に関し、その判断基準は利便性や定時性など多様だが、やはり重視されるものは「運賃」であるため、その他交通機関の運賃や近隣市町村営バス運賃を勘案するとともに、競合路線事業者と協議を行い、運行経費等を考慮しながら、適切かつ利用しやすい運賃体系を検討する。

その他

○ 有料広告の導入

有料広告の導入により、運賃収入以外の財源確保を図る。

○ その他

デマンド運行についての検討。